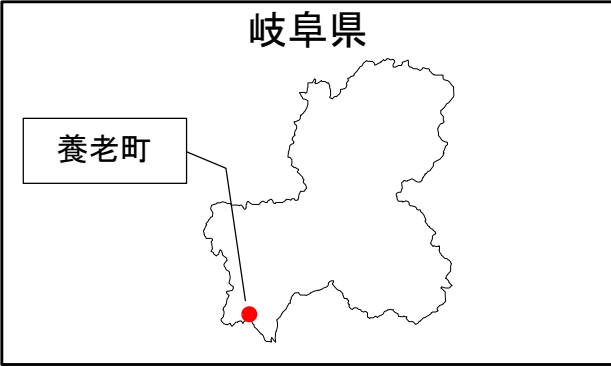


品種	作付面積	単収	地域の単収との差(地域の平均単収)
北陸193号 みなちから	約17.3ha	717kg/10a	247kg/10a(470kg/10a) [※] ※作柄調整後の地域の平均単収

【経営概況】 ○ 平成16年営農組合設立 ○ 代表及び、作業従業員 3名 ○ 地域の担い手不足と作業員の高齢化に対応するため、若手作業員の育成に努力。主食・飼料用米の2本立て。	【作付品目】 ○主食用米 ハツシモ 7.1ha ○飼料用米(種子用を含む) 北陸193号・みなちから 17.4ha
---	--

【取組のきっかけ】 ○ 平成26年に営農組合からの法人化に伴い、効率的な栽培・作業を実現し、農地集積による団地化の推進として、収益性のある飼料用米に取り組む。
--



【取組概要】 ○ 農業機械の有効利用と作業の効率化を図るため、主食用米と飼料用米による作期分散を行い、戦略作物助成・産地交付金を活用し、収益向上を図る。 ○ 耐倒伏性に優れ低湿地地帯でもある当地での栽培に適した「北陸193号」を生産。本年産より疎植栽培、立毛乾燥等省力・低コスト栽培に適した「みなちから」の生産も開始。 ○ 田植は密播による育苗箱の減少と株間24cmの疎植化を行っており、病虫害防除剤は播種時に、除草剤は田植時に同時に行うことでコスト低減を図っている。 ○ 施肥は稲わらのすき込みとPKN7-7-30を10a当たり30～35kg散布。 ○ 立毛乾燥(水分17%前後)、地元の施設利用による乾燥・調整及びフレコン出荷によりコスト低減を図っている。 ○ 買取業者である岐阜養鶏農業協同組合がフレコンのまま供給先まで運搬することにより、流通コストの低減を図っている。
